

テニス・オーストラリアとインフォシス、全豪オープン・テニスの バーチャル観客向けにデジタル体験を再創造

メルボルン (オーストラリア) – 2021 年 2 月 11 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーで、本年度全豪オープン・テニスの公式デジタル・イノベーション・パートナーである**インフォシス** (NYSE: INFY) は、自社のテクノロジーを採用して、会場を訪れる関係者と直接参加できないファンに向けてテニス体験の強化を図ります。場所の隔たりを乗り越えてつながるためにテクノロジーを利用することで、インフォシスとテニス・オーストラリアは、クラウド、AI、3D バーチャル体験およびモビリティを活用した新しい可能性を開きます。このイノベーションはスポーツにおけるノーマルの在り方を、現在グラウンドスラムを取り巻く状況を越えて飛躍的に変化させるものであり、選手と世界中のファンの没入感、情熱、輝きをいっそう高めることを目的として、大会の中核にデジタル技術を位置付けるという動向を表すものです。

「昨年は、全豪オープンとファン、選手、コーチ、パートナー、そしてメディアの中で、意味のあるデジタルエンゲージメントの必要性が加速した一年でした。私たちは今年、新しいデジタル体験と、すべての関係者がどこにいてもアクセスできるインサイトを提供することに焦点を合わせています」と、**テニス・オーストラリアの最高収益責任者である Ben Slack 氏**は述べています。

「私たちは、デジタル・イノベーション・パートナーとして 3 年間連続でインフォシスを迎えており、これまでにファン、選手、コーチに加え、放映パートナーやスポンサーを含む関係者全員のエンゲージメントの最適化を実現してきました。今年は人と接触することにさまざまな制約がありましたが、それでもなお、チームはすばらしい成果を上げ、今年の大会に向けてもこれまでと同じように、新しいより優れたデジタル体験を提供できています。」

全豪オープン (AO) 大会は、すべての関係者を含むエコシステム全体を、次のように革新することに焦点を合わせています。

- **アナリティクスによる没入感:** 3D コート・ビジョンでは、各ショットにデータ・オーバーレイを付与したアニメーションの形式で、大会の試合を観戦できます。ボールの回転速度からサーブまで、ゲームのあらゆるデータをボタンクリックひとつで表示できます。インフォシスが採用する「ホーク・アイ」データが各ショットを準リアルタイムでアニメーション化。ファンはスタジアムの見やすい位置から試合を分析できます。
- **ファンの情熱の喚起:** 新しい全豪オープン・バーチャルスラムでは、すべてファンがロッド・レーバー・アリーナでの体験に参加できます。ファンは 3D コートビューとデータを利用して全豪オープンのプレーをシミュレーションし、選手とともに栄光を目指します。また、強化された全豪オープンファン・アプリでは、さらに充実したコンテンツと利用者の興味に基づいてパーソナライズされたユーザー・ジャーニーが提供され、ガイド付きナビゲーションを使用して、コロナウイルス対策としてメルボルン・パーク内に新たに設定された順路を探しやすくする工夫が施されています。

- **コートでの輝きをセンシング:** 専用の全豪オープン・コーチ用アプリでは、AI 動画分析機能がもたらす新しいインテリジェンスを、ランクに関わらずすべての出場選手とチームが利用できます。この AI ツールでは、勝負を決めたバックハンド・ドロップショットや長いラリーの最後のボレーショットなどでも、選手と対戦相手のプレーを詳細に評価できます。多くの選手はチーム全員を大会に帯同させることができませんが、この機能を活用すると、アプリ内でリアルタイムに作戦を共有し、コーチの指導を世界中のどこからでもリモートで得ることが可能になります。

全豪オープンのメディアチーム向けには、機械学習を利用した AI が選ぶ本日のベストショット機能が、試合のハイライト場面をすばやく特定します。この機能は複数の客観的（サーブの最高速度など）および主観的（選手の気分、観客の反応、試合の流れにおけるそのショットの重要性）データポイントを使用しています。

- **招待者体験の再発明:** 3D 全豪オープン・バーチャルハブは、全豪オープンのビジネスモデルに欠かせないパートナー、スポンサーの物理的な制約を克服するために開発されたものです。Infosys Meridian を採用したバーチャル・ハブは、独占開催される各種イベント、大会のバックステージやテニスクリニック、テニス界のレジェンドたちとの交流、マスターシェフセッション、ライブパフォーマンス、360°ゲーム観戦、その他多くのイベントに参加するパートナー向けのプレミアムな体験を提供します。大会期間中には 1 万 2000 名以上の VIP をホストすると予想されています。

インフォシスのシニア・バイス・プレジデント兼オーストラリア・ニューージーランド地域代表の Andrew Groth は「パンデミックにより多くの組織がこれまでの路線を変更し変化に迅速に適應することを余儀なくされました。当社とテニス・オーストラリアの持続的なパートナーシップを通じて、全豪オープンは観客のニーズの変化にシームレスに適應することに成功し、同時に、新しいデジタル体験で実現できることの範囲を拡大させています」と述べ、次のように続けます。

「当社にとって、3 年間連続でテニス・オーストラリアと協働できることは非常に光栄であり、ファン、パートナー、コーチ、メディアの皆様にも全豪オープンの新しい次元をお届けすることを楽しみにしています。当社が今年全豪オープンと行う協同作業では、データと AI の力が明確に発揮され、その力は物理的な距離を超えて人々を近づけています。」

[全豪オープン・テニス 2021 におけるインフォシスの活動: #NextNeverStops - YouTube](#)

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 46 か国でお客様のデジタル変革を実現しています。約 40 年にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2012 年会計年度（2013 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）と 2013 年第 1 四半期（2013 年 4 月－7 月期）（Form 6-K）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

インフォシスリミテッド 日本支店 マーケティング本部長

安藤 jo_ando@infosys.com / 03-5545-3257